



保護者連絡用QRコード(登録サイト)

〒858-8588

佐世保市母ヶ浦町888-1 平成28年6月30日発行

TEL0956-48-8881 佐世保実業高等学校

http://www.sajitsu.net/ 発行責任者 嶋田 一郎



「校旗に向かって”礼”」

校長 嶋田 一郎

本校では、登下校のときに中門で一度立ち止まって礼をする。そこに誰もいなくても、全員が校旗に向かって礼をする。私は、当初、校舎に向かって礼をしていると思っていた。しかし、本校では創立以来、校旗に向かって礼をしている。

また、ある高校では校舎に向かって礼をしている。登校するとき、校門で一度立ち止まって礼をする。下校時は、校門まで来ると振り返って礼をするのである。どちらの学校の生徒も、「今日も一日よろしくお祈りします」と、今日も学校に来て学習ができることに対して、感謝の気持ちを込めて頭を下げているのだと思う。

授業開始の時も先生と生徒双方が、「お祈りします」と頭を下げている。それは「先生と生徒が、お互いにこれから勉強させていただきます」と言う感謝の気持ちを表しているのだと思う。

皆さんは、授業にどのような姿勢で臨んでいるだろうか。数年前にノーベル平和賞を受賞したパキスタン人のマララさんは、世界中には学校に通えない子供たちがたくさんいるので、教育を受けさせて欲しいと訴えている。みなさんは、今日も当たり前のように授業を受けることができる。感謝をしたい。そのような気持ちで授業に臨んで欲しい。

ところで、学校教育の不易には、いかに時代が変わろうとも、人として大切にしなければならないものがある。そのうちの 하나가「あいさつ」である。感謝の気持ちをもって、これまで同様、「校旗に向かって”礼”」をしよう。

機械科1年生全員「第二種電気工事士学科試験」に挑戦!

6月5日(日)、長崎大学において、機械科1年生全員と2・3年生の希望者あわせて68名が第二種電気工事士学科試験を受験しました。この資格は、住宅や店舗等、600V以下で受電する設備の新築・増改築時に、配電図通りに屋内配線を行い、コンセントの設置やアース施工などを行うために必要な資格であり、国家試験の中でも人気が高い資格です。

本校では、昨年までは2・3年生の希望者だけの受験でしたが、今年度から、希望者に加え、機械科の1年生全員が挑戦しました。特に1年生は、入学前の課題や入学式翌日から補習を行い、試験に備えました。学科試験の合格発表は7月上旬です。

現在、7月下旬に実施される技能試験に向けて学習に励んでいます。

熊本地震被災地への義援金を佐世保市に寄託

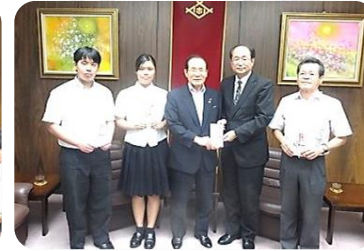
熊本地震発生から2か月が経過しました。震災から少しずつ復興に向かって頑張られている被災者の方々に少しでも支援できたらという思いから、本校生徒会の諸君が5月11日(水)に佐世保駅前で街頭募金を実施しました。その後、登下校する生徒にも校門や校舎内で募金を呼びかけ、義援金を募りました。

6月24日(金)に、本校から、嶋田一郎校長、中脇正則育友会長、青野莉帆生徒会長ならびに馬郡大介生徒会副会長の4名が佐世保市役所を訪問し、朝長則男市長に熊本地震被災地への義援金を寄託しました。

青野生徒会長は、「皆様が協力してくださり集まった義援金を、同じ九州の一員として困っている熊本県の方々に届けていただき、有効に使ってください」と朝長市長に手渡しました。

以下に、青野生徒会長から生徒の皆さんへのメッセージを紹介します。

「佐世の皆さんが協力してくださったおかげで、たくさんの義援金を届けることができました。これからも、助け合いの精神を忘れることなく、日々の生活を続けていきましょう」



教務部 — 「互観授業」及び「研究授業」の実施

本校では、毎年、「互観授業(教職員間の授業参観)」や「研究授業」に取り組んでいます。専門分野だけでなく、その他の教科指導等の授業参観を通して、授業展開を工夫したり、指導法の改善等に生かしています。研究授業は、初任の教職員を中心に実施し、指導力の向上に努めています。私達、教職員は、今まで以上に授業や部活動指導等に取り組み、生徒の学力向上や進路実現に努めます。

- (1) 生徒の多様化に応じた「わかる授業」の展開に努める。
- (2) 授業参観を通じて自己の授業を省み、授業改善に努める。
- (3) 本校生の実態に即した授業展開を研究し、指導力の向上を目指す。

「長崎県高校生ものづくりコンテスト」自動車整備部門 優良賞

6月18日(土)、佐世保高等技術専門校で「長崎県高校生ものづくりコンテスト 第11回 自動車整備部門」が開催されました。本校自動車工学科の生徒2名が出場し、2年生の河野健太郎くんが、「優良賞」を受賞しました。

競技内容は、学科・測定・点検作業・故障探究の4項目を競いました。本番でも、落ち着いて問題に取り組むことができ、日頃の学習成果を発揮することが出来ました。

